

# Earthboatプロジェクトの歩み

2022年6月15日、ロンドン在住の建築家、高田一正氏([パンプロジェクト](#))から株式会社森未来に、サウナ付き宿泊型トレーラーハウスをCLT造で量産したいとの問い合わせを受けたのがEarthboatとの出会いの始まりでした。

急ぎ資料を作成し、打ち合わせを開始、事業主である株式会社アースボート代表取締役 吉原ゴウ氏にもお会いし、事業構想をお伺いしました。実に熱いプレゼンをしていただいたことが思い起こされます。CLTとは何かについても深く勉強されていました。その後、[株式会社Earthboat](#)が設立され、プロジェクト名も「Earthboat」と定まり現在に至ります。

当社ではCLT製造現場を自分の目で見て、素材から製材加工まで体系的に理解することが重要と考え、同年夏、吉原ゴウ氏とともに愛媛県西条市のサイプレス・スナダヤさんを訪問し、砂田和之代表取締役、砂田雄太郎代表取締役専務などと打ち合わせを行いました。以後、毎年、[サイプレス・スナダヤ](#)さんを訪問し交流を深めています。

22年秋にはサイプレス・スナダヤさんと実施設計図、CLT加工図等の共有を行い、最初のCLTパネルが製造され、同年末、最初のCLTパネルが千葉県香取市の組立拠点に搬入されました。Earthboat施工は[TICプラン](#)さん。この時はCLT建て方で著名な[木村建造](#)の木村光行社長にもアドバイザーとしてご参加いただきました。

当社はCLTパネルにとどまらず、杉KD製材及びプレカット部材([東京木材相互市場](#)さん)、杉Jパネル([鳥取CLT](#)さん)、透湿シート([ウルトジャンパン](#)さん)、リボス木材保護塗料([イケダコーポレーション](#)さん)、各種接合金物([若井産業](#)さん)、窓ガラス([マテックス](#)さん)なども担当しています。荷主各位には価格、品質、供給で格別のご支援をいただいております、この場を借りて感謝申し上げます。

24年春には[Earthboat Village KUROHIME](#)(10台)が開業し、事業主のご厚意で荷主各社、TICプランさんを招待していただきました。静かに雪が降るなか、雪明りのなかに佇むEarthboatの美しさに一同心から感動しました。





事業主のEarthboatに対する最も重要な理念は、国産材活用を原動力とした地域の活性化です。本プロジェクトではすべての木質部材に国産材人工林を原材料とした木材製品を採用しています。

## 株式会社森未来について

森未来は、「Sustainable Forest ～私たちは持続可能な森林をつくり、次の世代へ繋いでいきます」をミッションに掲げ、森林が産業的にも環境的にも持続可能な状態を目指す木材流通のスタートアップ企業です。設計者・デザイナーのための木材プラットフォーム「[eTREE \(イーツリー\)](#)」を運営し、設計者、デザイナー、建築家の新しい木材利用や空間創造の可能性に応えています。



木材利用には、現場との連携のために専門的な知識が求められる一方で、情報が散逸し、必要な情報にアクセスしにくいという課題があります。森未来は、200社以上の事業者との連携を通じて、複雑で広範に渡る木材利用に関する情報を集約し、スムーズな木材流通の実現に取り組んできました。

今後も、地域の林業や木材事業者と木材を使いたいユーザーの繋がりをさらに強化し、持続可能な森林管理を推進することで、「Sustainable Forest」の実現を目指します。